

# CASBEE<sup>®</sup>広島

(2010年ver.1)

## 評価結果

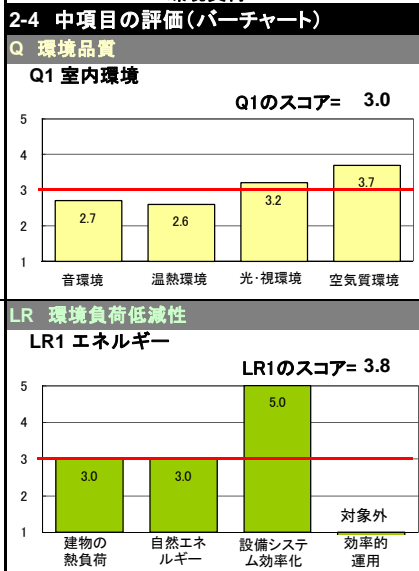
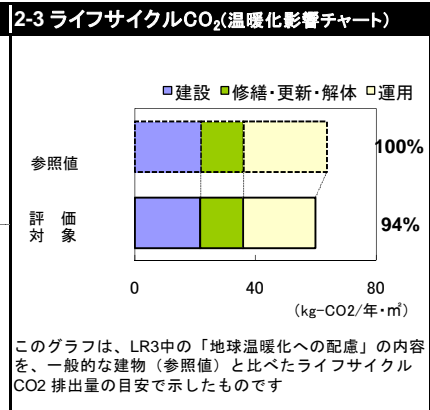
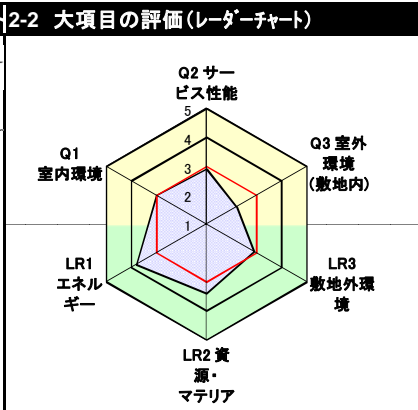
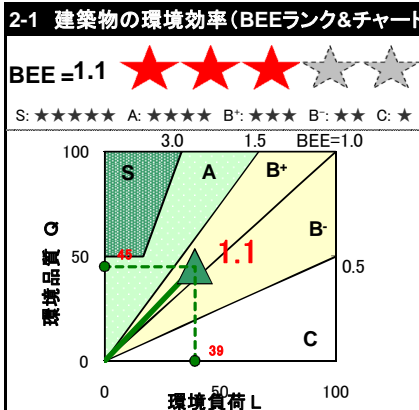
■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)比治山町ビル	階数	13階
建設地	広島市南区比治山町920-5,920-7	構造	RC造
用途地域	商業	平均居住人員	104人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年4月 予定	評価の実施日	2014年7月17日
敷地面積	366㎡	作成者	澤田 信一
建築面積	199㎡	確認日	2014年8月1日
延床面積	2,165㎡	確認者	澤田 信一



さい



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.2	スコア = 1.6	スコア = 3.1
<b>設計の計画に特段に配慮した事項</b> 省エネ対策等級3を確保、各戸ペアガラスの採用/開口部からの有効な採光、通風を確保/LED照明、制御方式の工夫、潜熱回収型給湯器の採用//節水型器具の採用 リサイクル材の採用 部材の再生可能な取り組み/一般的な建物と同等	<b>設計の計画に特段に配慮した事項</b> /自転車置場、駐車場の確保	<b>設計の計画に特段に配慮した事項</b> 外壁を陶磁器タイルを採用 給排水配管材のB以上を採用/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたいた